

2018年度実施教員採用試験合格情報

中高保健体育科教諭	4名
小学校教諭	11名
特別支援学校教諭	2名
合計	17名

※延べ人数。1名の大学院生含む。

既卒生合格者数

26名

※合格の報告が大学にあった既卒生の数。

合格の決め手は「チーム力」！

今年実施された教員採用試験で、仙台大学の学生17名、既卒生26名が合格し、来年度から教員としてのスタートを切ることになりました。教職支援センター長の金井里弥講師は、次のように今年の成果を振り返ります。

「合格の決め手となったのは、『チーム力』であったと感じています。今年の4年生は特に、**学生同士で共に学び合い、教え合う関係性を築いている**様子が印象的でした。教員になるための学びは楽しくもあり、苦勞も多いものですが、学生たちは同じ目標を持つ仲間と日々励まし合いながら、切磋琢磨し、一緒にいくつもの苦難を乗り越えてきました。そうした『チーム力』が、**仲間と共に合格を果たすという結果に繋がった**といえます。

今、学校教育が抱える問題は多様化・複雑化しており、教員は学校内外の人材とチームとして連携・協働することが求められています。今年合格した学生、既卒生には、そうしたチーム力を学校現場で存分に発揮してくれるに違いないと期待しています。」



教職支援センター長
金井 里弥

仙台大学の教職支援センターでは、**学生たちの『チーム力』を築くため、教職志望の学生同士が共に学び合う場や学校現場の現職教員と連携して指導力を磨く場を提供するプログラムを多数実施しています。**そして、それらのプログラムの中では、学生だけでなく、教職員もチームとして一丸となって学生の教職支援を行っています。学生間、そして学生と教職員間のチーム力で、たくさんの学生が夢を実現させ羽ばたいていけるよう、教職支援センターはこれからも支援に力を入れていきます！

教職支援センターの多様な教員養成プログラム

モットーは「面倒見の良い教員養成」

仙台大学は「面倒見の良い教員養成」を理念として、教職を志す学生が教員として羽ばたいていけるよう様々な支援プログラムを行っています。大学の科目での学びだけでなく、大学を飛び出して、実際の**学校現場で教員の仕事を体験的に学ぶ**機会を豊富に提供しています。また、年間を通じて、**教員採用試験の対策講座**も展開し、多くの教職志望学生が共に切磋琢磨し、学び合っています。

未来先生



「未来の先生」として
小中学校で授業を補助

仙台大塾



小学生150名を大学に招いて夏休みの宿題指導！

教採塾



年間を通じて開講する
教員採用試験対策講座

チーム教採



教員志望の学生同士で実技を学び合い、教え合う

教員研修への参加



教員研修で現職の先生と一緒に授業づくり

教師塾



教員志望の高校生が先生体験！